



1

大気汚染常時監視

一般局: 一般環境大気測定局
自排局: 自動車排出ガス測定局

地区	測定局数
高千穂	1
延岡	3 (1)
日向	3
西米良	1
高鍋	1
宮崎	3 (3)
小林	1
都城	1 (1)
日南	2
計	16 (5)

※宮崎市内は宮崎市所管
※括弧内は自排局の数

昭和四十三年
法律第九十七号
『大気汚染防止法』

(常時監視)
第二十二條
都道府県知事は、環境
省令で定めるところに
より、大気の汚染の状況
を常時監視しなければ
ならない。

↓

ppbレベルの濃度を
24時間365日監視
(点検等を除く)

2

測定項目

- 測定項目
- 二酸化硫黄
- 一酸化窒素
- 二酸化窒素
- 窒素酸化物
- 光化学オキシダント
- 浮遊粒子状物質
- 微粒子状物質
- 一酸化炭素
- 非メタン炭化水素
- メタン
- 全炭化水素
- 計11項目

『みやざきの空 (https://www.miyazaki-taiki.jp/kankyo/taiki/hourreport/)』

3

令和7年度のトピックス

【R7.7.4】54年ぶりとなる二酸化硫黄注意報を小林市に発令

From: 宮崎県メールサービス

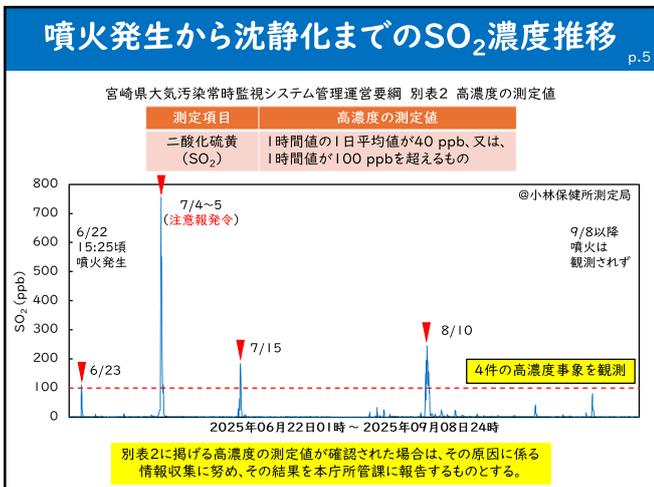
2025年7月4日 19:37

宮崎県【二酸化硫黄注意報の発令】です。
◆本日(7月4日)18時50分、小林市に二酸化硫黄注意報を発令しました。

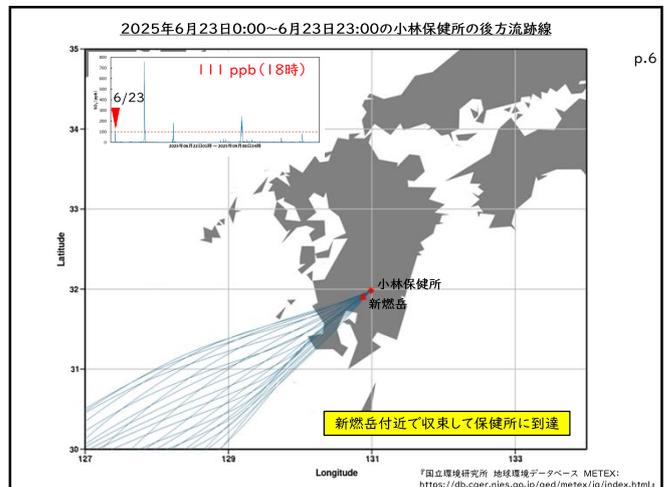
- ◆注意報発令時の留意事項
 - ・不要不急の外出は控えてください。
 - ・場合によっては目やの刺激を感じることもありますので、その際は、洗眼やうがい等を行うとともに、程度によっては医師の診察を受けてください。そして、被害を受けた方は、被害の保険所又は市町村の環境担当課へ被害状況を報告してください。
- ◆発令の理由
二酸化硫黄濃度が発令基準値0.5ppm以上となったため
- ◆測定結果 **18時に500 ppbを超過**

小林保健所測定局で

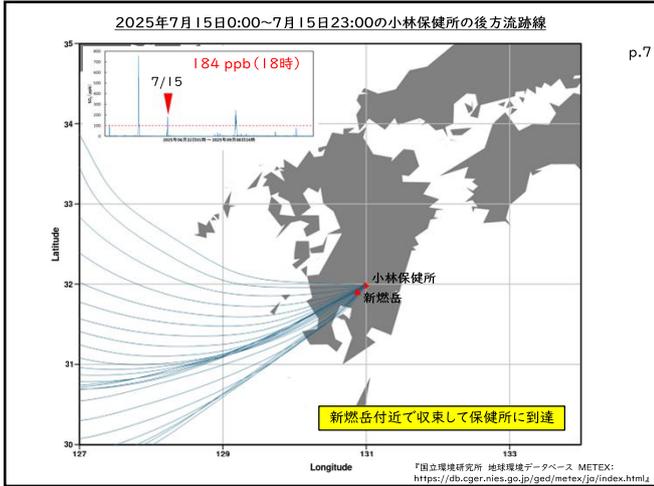
4



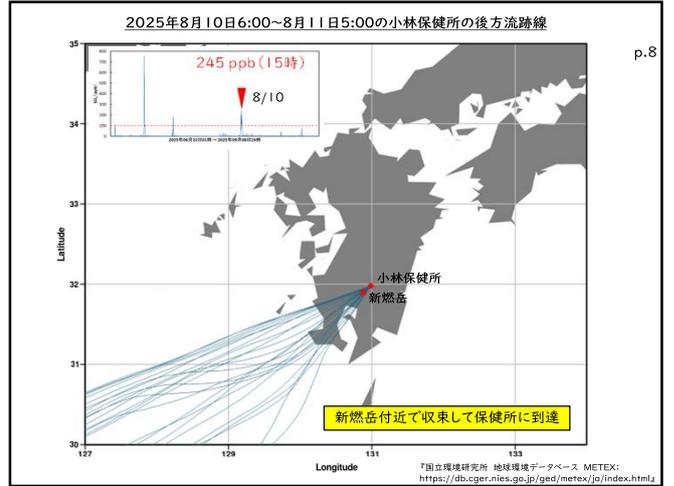
5



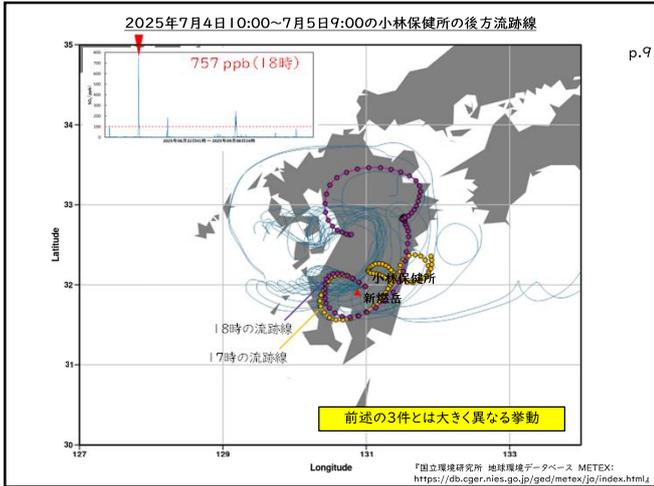
6



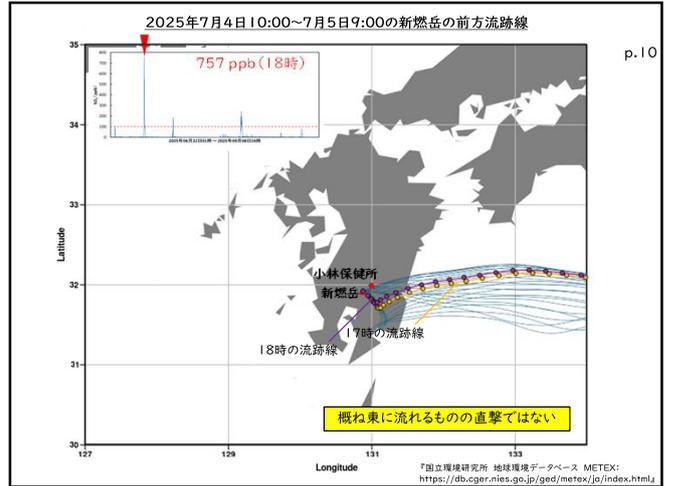
7



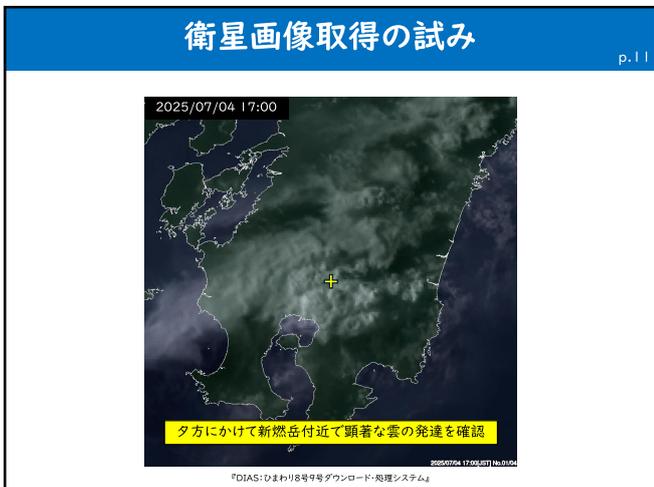
8



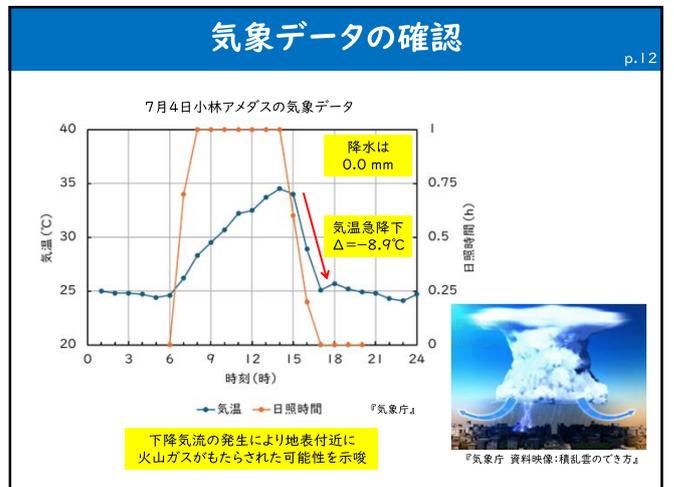
9



10



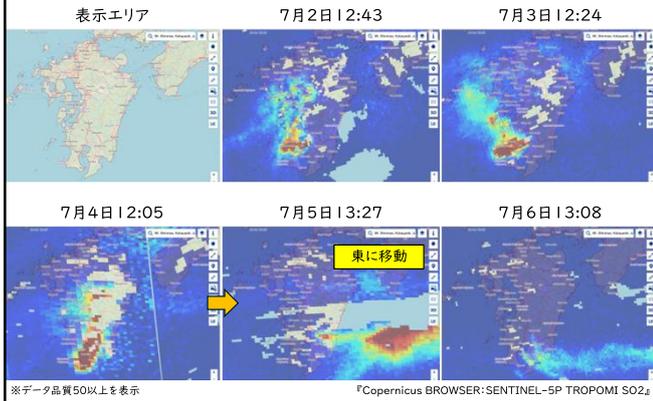
11



12

【Sentinel-5P】SO₂の鉛直積算濃度

p. 13



13

まとめ

p. 14

- ・新燃岳噴火後の小林保健所測定局で観測された高濃度の二酸化硫黄について、4件中3件は流跡線解析により新燃岳の影響である可能性が示唆された。
- ・7月4日の高濃度事象については、流跡線解析や降灰予報では説明が困難であった。
- ・衛星画像より4日の午後以降に顕著な雲の発達を確認され、小林市での高濃度事象に寄与している可能性が示唆された。
- ・Sentinel-5PのSO₂の観測画像より、4日まで主に鹿児島県側に存在したSO₂が5日には東方の日向灘沖に移動していたことが確認された。

衛星のセンサは多岐にわたり、可視画像以外にも様々な利用方法があるため、今後も大気の高濃度事象に関する情報収集に活用していく。

14